

## 新たな発見

嘉野とし子

「少年老い易く学成り難し」 思い起こせば10月18日 出発式のスピーチの冒頭でこの格言が口を突いて出た。15年程前に初級英会話教室に参加した私は、カナダ派遣のビデオを先生からお借りして見る。その時、英語が流暢に話せるようになったら行ってみたいと思ったのかも。私は、あっという間に老眼も進み、年を取ってしまうが、語学の上達の方はペラペラ話すなんて夢のまた夢だ。

清水の舞台から飛び降りる思いで、4月に申し込む。この機会を逃したら一生行かれないと一念発起。しかし、その直後から後悔が始まる。何せ海外には行ったことが無かったので、不安が胸をよぎる。「え〜い！案ずるより産むが易しだ」と、自分に言い聞かせるが、その傍から「お産は命がけだ」と、落ち着きがない。

出発前に抱いた心配の種は、詰まる所自ら自分に貼ったレッテルに問題があったからに他ならない。『旅に出ると緊張して便秘になる人』『枕が変わると寝られなくなる人』『体力が無くて疲れやすい人』等だ。それで 対策として便秘薬も購入して準備万端ばかりなくまでは良かったが、スーツケースに入れ忘れ、家に置いたまま出発してしまう。しかし、実際に一泊二泊三日の間、毎日一日一回お通じがあった。「カナダの水は硬水で、あまり飲み過ぎるとお腹がゆるくなりますから気を付けて」と、ガイドの川野さんが、ちらっとおっしゃっていたから、水のお陰なのかもしれないが。

心配していた睡眠に関しても、錠剤を半分かじり次の日の出発時間の2時間前に目覚ましをセットしてベッドに入り、大きく腹式呼吸を繰り返しているうちにリラックス。あくびが出て夢の世界へと誘われた。そして、緊張からか必ず目覚ましは鳴る前には目が覚める。

一番心配していた体力に関しても、へとへとに疲れているはずの自分のどこにそんな体力が残っていたの？と、我ながらビックリする体験をした。

11月5日、土日からの寝不足と疲れが溜まっていたのか町内視察をしている間とても眠い！この日の夕食会でサラダ、スパゲッティ、デザートケーキも食べ、お腹がいっぱいになった私の願いは、ただ一つだけだ。『早くホスト宅に帰り、お風呂に入って寝たい！』だけ。もう限界だと思った次の瞬間、ビートの効いたアップテンポな曲が会場に流れ、気が付くと私は、汗だくになってサングラスを掛けて踊っていた。その後、欠席することなく、招待してくれているD氏宅にもみんなと一緒に参加。この日のスケジュールをこなしたことになる。手元に証拠の写が残っているのだから。娘さんや奥さんとも会話して、日本に来た時のアルバムを見せて貰ったりした。元気いっぱい私が、笑顔で手を振っている。

「終わり良ければすべて良し」ここで失敗談を書き出せば紙面が足りなくなるだろうからこの辺で結びの文を書こう。とにかく、今は無事に帰ってこられて、庭の紅葉を見てホッとしている。雄大なバンフ国立公園やジャスパー国立公園の中も歩いたし、ホワイトコート町の施設の見学やエドモントンウエストモールでのショッピング。空港の中も汗をかきな

がら早足で前の人について行った。つくづく思う。足腰の丈夫なうちに行くことが出来て良かったと。

末筆になりますが、感謝の言葉で締めくくりたいと思います。ホワイトコート町と友好都市の提携を正式に結んでから20年。この節目の記念すべき年に湧別町の町民として、交流に参加出来ました。皆様 応援して支えてくださりありがとうございます。